

平成20年3月21日

平成19年10月1日現在推計人口

- 全国：年齢（5歳階級），男女別人口 -

「推計人口」は、国勢調査による人口を基礎に、その後の人口の動向を他の人口関連資料から得て、毎月1日現在の人口及び毎年10月1日現在の人口の詳細を算出しています。
この資料は、平成19年10月1日現在の推計人口の概要をとりまとめたものです。

総人口はほぼ横ばい、日本人人口は3年連続の減少

総人口は1億2777万1千人となっており、前年に比べ1千人(0.00%)の増加と、ほぼ横ばいになっています。

男女別にみると、男性は2万人の減少、女性は2万1千人の増加となっています。

日本人人口は1億2608万5千人で、前年に比べ6万9千人(-0.06%)減少し、3年連続の減少となっています。

男女別にみると、男性は5万7千人の減少、女性は1万2千人の減少となっています。

(表1, 図1)

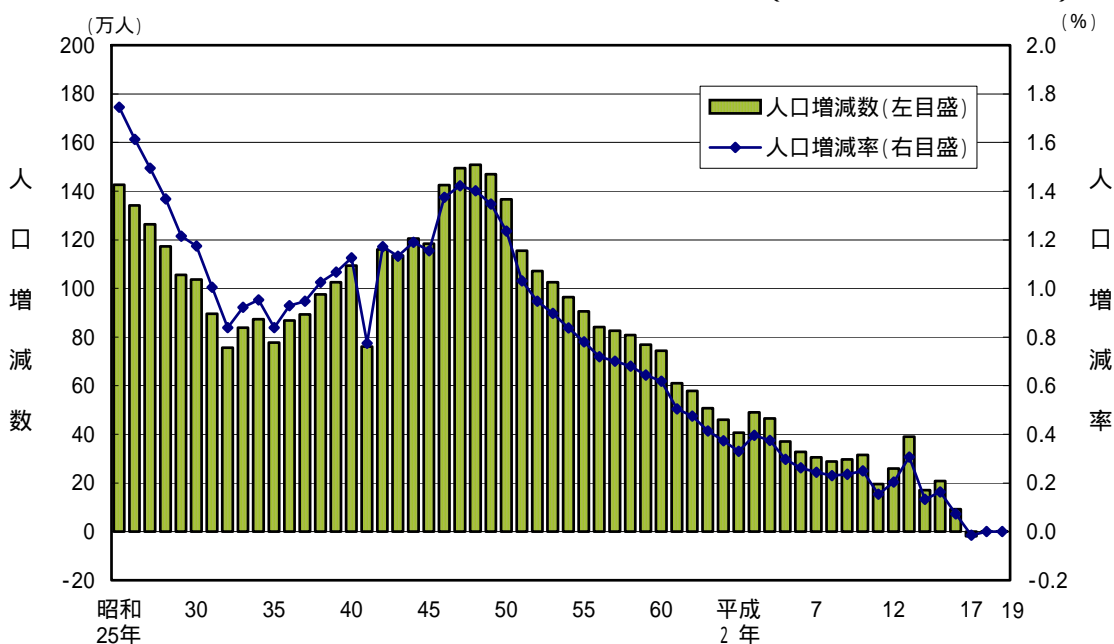
表1 人口総数（平成19年10月1日現在）

(単位 千人)

	男女計				男				女						
	人口	純増減		自然増減	社会増減	人口	純増減		自然増減	社会増減	人口	純増減		自然増減	社会増減
		増減数	増減率(%)				増減数	増減率(%)				増減数	増減率(%)		
総人口	127,771	1	0.00	-2	4	62,310	-20	-0.03	-26	6	65,461	21	0.03	23	-2
日本人人口	126,085	-69	-0.06	-9	-75	61,511	-57	-0.09	-29	-35	64,574	-12	-0.02	20	-41

注1) 増減率は平成18年10月から19年9月までの増減数を18年人口（期間初めの人口＝期首人口）で除したものの。
2) 日本人人口の純増減は、国籍の異動による増減を含む。

図1 総人口の人口増減数及び人口増減率の推移（昭和25年～平成19年）



注) 人口増減率は、前年10月から当年9月までの増減数を前年人口（期首人口）で除したものの。

自然増減は、初めて減少に

自然増減（出生児数 - 死亡者数）は、近年、その増加幅が縮小傾向で推移してきており、平成19年は出生児数が死亡者数を2千人下回り、比較可能な昭和25年以来、初めて減少に転じました。（図2、表2）

社会増減（入国者数 - 出国者数）は、近年、日本人は出国超過、外国人は入国超過の傾向で推移してきており、平成19年は外国人の入国超過数が日本人の出国超過数を上回り、4千人の増加となっています。（図3、表2）

図2 出生児数及び死亡者数の推移
(千人) (昭和60年～平成19年)

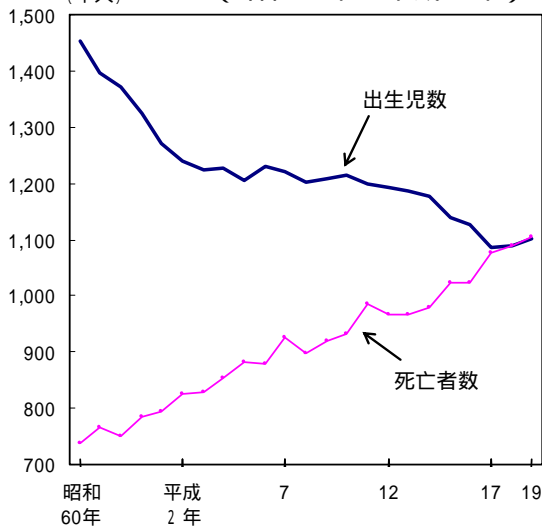
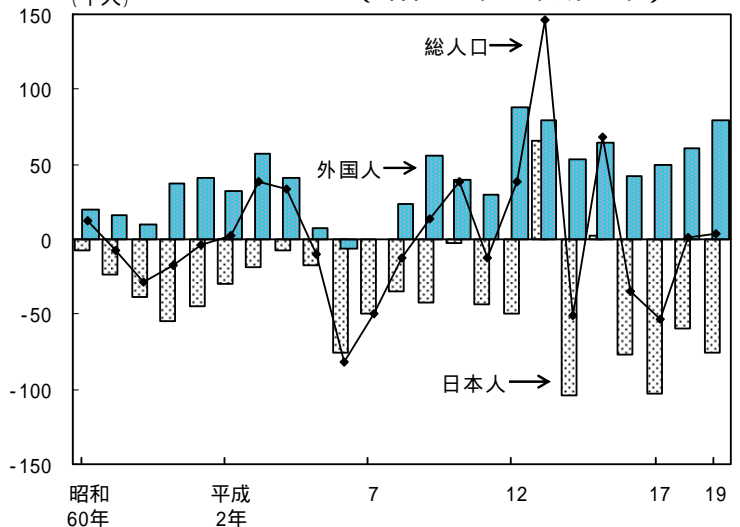


図3 日本人及び外国人別社会増減数の推移
(千人) (昭和60年～平成19年)



注)「人口動態統計」(厚生労働省)による。

注)「出入国管理統計」(法務省)による。平成17年までの日本人については、海外滞在90日以内の入国者数、出国者数を含めている。

表2 総人口の推移(昭和60年～平成19年)

(単位 千人)

年次	10月1日 現在人口	人口増減 (前年10月～当年9月)									
		純増減 ¹⁾		自然動態 ²⁾			社会動態 ³⁾				
		増減数	増減率(%) ⁴⁾	出生児数	死亡者数	自然増減	入国者数	出国者数	社会増減	うち日本人	うち外国人
昭和60年	121,049 ⁵⁾	744	0.62	1,452	738	714	5,241	5,228	13	-7	20
61	121,660	611	0.50	1,397	767	630	5,599	5,606	-7	-23	16
62	122,239	579	0.48	1,372	752	620	6,891	6,919	-28	-39	10
63	122,745	507	0.41	1,323	786	537	8,565	8,582	-17	-54	37
平成元年	123,205	459	0.37	1,270	794	476	9,929	9,932	-4	-45	41
2	123,611 ⁵⁾	406	0.33	1,241	824	417	11,303	11,301	2	-30	32
3	124,101	490	0.40	1,224	829	394	11,168	11,130	38	-19	57
4	124,567	466	0.38	1,228	854	374	12,720	12,685	34	-7	41
5	124,938	370	0.30	1,205	882	322	12,398	12,408	-10	-17	8
6	125,265	327	0.26	1,229	877	351	13,982	14,064	-82	-76	-6
7	125,570 ⁵⁾	305	0.24	1,222	925	297	15,653	15,703	-50	-50	0
8	125,859	289	0.23	1,203	896	307	17,375	17,388	-13	-35	23
9	126,157	297	0.24	1,209	921	288	17,974	17,960	14	-42	56
10	126,472	315	0.25	1,215	933	282	17,028	16,990	38	-2	40
11	126,667	195	0.15	1,198	985	212	17,237	17,249	-12	-43	30
12	126,926 ⁵⁾	259	0.20	1,194	968	226	18,462	18,424	38	-50	88
13	127,316	390	0.31	1,185	966	219	19,266	19,120	146	66	79
14	127,486	170	0.13	1,176	981	195	16,321	16,372	-51	-104	53
15	127,694	208	0.16	1,138	1,023	115	15,038	14,970	68	3	65
16	127,787	93	0.07	1,126	1,024	103	17,673	17,709	-35	-77	42
17	127,768 ⁵⁾	-19	-0.01	1,087	1,078	9	18,951	19,004	-53	-103	50
18	127,770	2	0.00	1,090	1,090	0	2,836	2,835	1	-60	61
19	127,771	1	0.00	1,101	1,103	-2	2,882	2,879	4	-75	79

注1) 平成17年までの純増減には補間補正数(国勢調査人口を基に算出した推計人口と、その次の国勢調査人口との差を各年に均等配分して算出したもの。)を含む。このため、自然増減と社会増減の計は純増減と一致しない。

2) 「人口動態統計」(厚生労働省)による。

3) 「出入国管理統計」(法務省)による。平成17年までの日本人については、海外滞在90日以内の入国者数、出国者数を含めている。

4) 前年10月から当年9月までの増減数を前年人口(期首人口)で除したもの。

5) 国勢調査人口。

年少人口は過去最低，老年人口は過去最高をそれぞれ更新

年少人口（0～14歳人口）は1729万3千人で，総人口に占める割合は13.5%となり，前年に比べ0.1ポイント低下し，過去最低となっています。

生産年齢人口（15～64歳人口）は8301万5千人で，総人口に占める割合は65.0%となり，前年に比べ0.5ポイント低下しています。

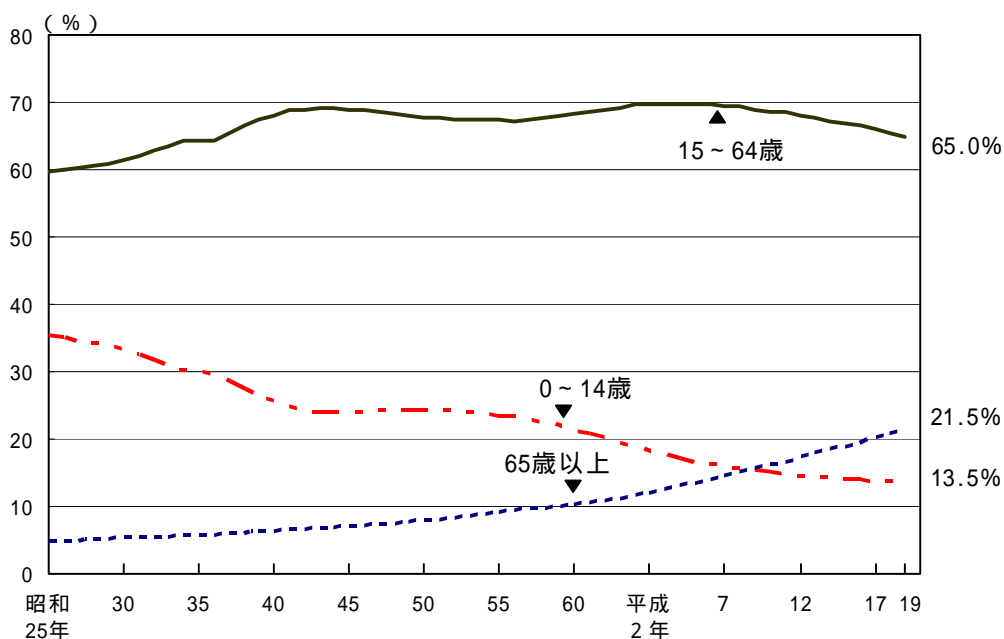
老年人口（65歳以上人口）は2746万4千人で，総人口に占める割合は21.5%となり，前年に比べ0.7ポイント上昇し，過去最高となっています。

（表3，図4）

表3 年齢3区分別人口及び割合

年次	年齢3区分別人口（単位 千人）				総人口に占める割合（%）			
	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)		年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	
			うち 75歳以上	うち 75歳以上			うち 75歳以上	
平成18年	17,435	83,731	26,604	12,166	13.6	65.5	20.8	9.5
平成19年	17,293	83,015	27,464	12,703	13.5	65.0	21.5	9.9
増減	-142	-716	860	538	-0.1	-0.5	0.7	0.4

図4 年齢3区分別人口の割合の推移（昭和25年～平成19年）



推計人口について

「推計人口」は、国勢調査の人口を基に、その後の人口の自然動態（出生、死亡）及び社会動態（出入国）を、人口動態統計（厚生労働省）、出入国管理統計（法務省）等、他の人口関連資料から得て、最新の人口を推計したものである。

「推計人口」では、毎月1日現在の「全国：年齢（5歳階級）、男女別推計人口」及び毎年10月1日現在の「全国：年齢（各歳）、男女別推計人口」及び「都道府県：年齢（5歳階級）、男女別推計人口」を公表している。

《推計人口の算出方法》

推計人口 = 基準人口 + 自然動態 + 社会動態 + 国籍の異動

ただし、自然動態 = 出生児数 - 死亡者数

社会動態 = 入国者数 - 出国者数

国籍異動者数 = 日本国籍取得者数 - 日本国籍喪失者数

《利用上の注意》

- (1) この資料における人口増減数及び人口増減率は、前年10月1日から当年9月30日までの1年間のものである。
- (2) 数値は表章単位未満の位で四捨五入しているため、合計の数値と内訳の計は必ずしも一致しない。

《今後の公表予定》

平成19年10月1日現在の「全国：年齢（各歳）、男女別推計人口」及び「都道府県：年齢（5歳階級）、男女別推計人口」については、4月に公表する予定である。

「推計人口」の詳しい結果を御覧になる場合は、次のアドレスを御参照ください。

<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.htm>

この冊子は、次のURLからダウンロードできます。

<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/2.htm>